

2. 生物多様性国家戦略を意識した環境創造についての紹介

東電環境エンジニアリング(株)

皆様のニーズにお応えする環境保全措置を提案させていただきます。

もっと価値ある緑化を目指しませんか。

東電環境エンジニアリング(株)では、生物多様性に配慮した発電所の緑地づくりや失われかけた里地里山機能の再生に取り組んでいます。私たちのビオトープづくりは、現状を把握する調査からはじまり、計画・設計・施工・維持管理・モニタリング(経過観察)および必要に応じた修正・改良まで一貫して手掛けています。既存技術に加え、これら自然環境創造の試行を通じて得られた技術や、各種試験、研究実績を材料としてより価値のあるビオトープづくりを目指します。

TEE'S ECO UP PLAN
—自然を身近に—

東電環境が目指す、ビオトープづくり

私たちが取り組むビオトープ

調査・試験・研究
生物調査、調査・移植試験

生物学
生態学、生物多様性

土木、造園技術
土木、造園工事、管理技術

地域との協調
地域活動への賛同、技術協力

自然学習・環境教育
ふれあいの場、ビオトープの利用

ビオトープづくり
調査 計画 設計
施工 維持管理 モニタリング
修正 改良

失われかけた里地里山機能の再生

■当間高原リゾートでの取り組み
新潟県十日町市の当間高原リゾートにおいて、放棄されていた水田跡地5haの利用計画の立案、再生整備、整備した水辺環境における動植物相の変遷に関する追跡調査・解析等を行ってきました。これら一連の取り組みが評価され、「平成15年度社団法人土木学会環境賞」を受賞しました。
(株)当間高原リゾート、東京電力(株)、鹿島建設(株)、東電環境エンジニアリング(株)による協同実施

当間バードサンクチュアリ全景

平成15年度
社団法人
土木学会環境賞
受賞

ビオトープづくりの基本要素

生物多様性に配慮した緑地の改良、創出

■発電所緑地での取り組み
東京電力(株)の発電所緑地において、生物多様性に配慮した自然環境を目指し、ビオトープづくりに関する技術開発、蓄積を行っています。また、環境保全に対する気づき、学習の場としての利用を進めています。

発電所における環境整備と生き物観察会の様子



野生生物の 生息環境づくり

今では少なくなったホタルやメダカ。
道端の野草を目にする機会も少なくなりました。
環境保全の重要性を再認識するため、
発電所緑地などをベースとして、これら野生生物の
生息環境づくりに関する試験・研究に取り組んでいます。

地元の生き物にこだわり、それらが自生できる環境づくりを目指します。

ホタル・メダカの生息環境づくり

■ ホタルの生息環境づくりの流れ



■ メダカの増殖、放流会



地域の小学生たちを招いてのメダカの放流会



放流により増えたメダカ

TEE

野草を用いた緑地づくり

■ 地元野草類の「種子採取 → 苗づくり → 移植」

地元野草類の種子採取



種子採取した野草類の育苗



育苗した野草類の移植



地元より種子を採取して育苗し、整備地に移植。開花した野草類の一例



カワラナデシコ カントウタンポポ フレモコロ 平ボウシ ミズヒキ ユリフネソウ リンドウ ノハナアザミ ハマキク



東電環境エンジニアリング株式会社